

令和元年度学生表彰規程に基づく受賞者一覧

1. 表彰規程第2条第1号イによる推薦(学術研究活動において、国際的規模又は全国的規模の学会から賞を受けたもの)

氏名	所属学部等	学会・競技名等(開催・表彰日等)	表彰理由
こが たかお 古賀 高雄	人文学研究科 (文化構造専攻) 博士課程後期課程3年	日本哲学会「哲学の門」優秀論文賞 (2019.5.18)	古賀高雄さんの日本哲学会WEB論集『哲学の門』に投稿した論文「技術哲学の批判性—フェルベークにおける「技術に同行する倫理」をめぐって—」は、2018年度の同WEB論集第1号に査読のうえ、掲載されたものから特に優れた研究論文として優秀論文賞に選ばれ、2019年5月の第78回日本哲学会総会(首都大学東京で開催)で表彰されましたので、推薦いたします。 【補足説明】日本哲学会は、1949年に設立された。設立当時すでに存在した各種哲学系学会、研究機関の全国規模での交流を図ること、および対外的に海外の各種学会との交流を図る窓口となるべく設立された。
わたなべ こう 渡邊 航	科学技術イノベーション 研究科 (科学技術イノ ベーション専攻) 博士課程前期課程2年	IEEE(アイ・トリプル・イー)主催 EMCCompo2019(2019.10.21-23) 「最優秀学生論文賞」	半導体集積回路(IC)における電磁環境両立性(EMC)技術分野における世界第一線の国際会議である、IEEE(アイ・トリプル・イー)主催EMCCompo2019(2019.10.21-23)において最優秀学生論文賞を受賞した。同会議全体で100件の発表(26件のポスターを含む)より3件が選定された。候補者は、当該論文の研究活動において、東北大学との共同研究を主体的に牽引し、とりわけ電波暗室等における実験の遂行と実験データの解析を担う唯一の大学院生として貢献した。当該学生本人が英文論文の執筆と口頭発表を行い、学術成果と論文発表技法の両面から評価された結果であり、学生表彰に相応しい候補者として推薦する。 【補足説明】IEEE(アイ・トリプル・イー、Institute of Electrical and Electronics Engineers)は、アメリカ合衆国に本部を置く電気・情報工学分野の学術研究団体(学会)、技術標準化機関である。会員の分布、活動は全世界的規模に及び、この種の専門職団体として世界最大規模の学術研究団体である。

2. 学生表彰規程第2条第2号イによる推薦

◎団体

団体名	表彰理由
学生フォーミュラチーム	第17回学生フォーミュラ日本大会2019で総合順位5位。日本自動車工業会会長賞及びベストラップ賞第3位も同時受賞。日本大会ではあるが、参加98チーム中27チームが海外からの参加。

3.学生表彰規程第2条第2号口による推薦

◎個人

氏名 (団体名)	学部学年	表彰理由
ふくい まさと 福井 聖 かわしま けんじ 川島 健嗣 (少林寺拳法部)	発達科学部4年 経済学部 4年	2018年度少林寺拳法関西学生新人大会 自由組演武男子初段の部2位。 関西大会9連覇の強豪校である同志社大学を破っての入賞。
いけだ ひな 池田 妃那 (卓球部)	経済学部 4年	第55回関西国公立大学卓球大会 団体戦(個人6戦全勝)、シングルス、ダブルスで優勝し、三冠達成。 平成30年度秋季教育系七大学定期戦、令和元年度春季兵庫県国公立大学卓球大会 シングルス戦優勝。 第53回会長杯争奪卓球大会 シングルス戦準優勝。 主要な団体戦には、シングルス、ダブルス共に出場し、9割5分以上の勝率。
あかさか けいご 赤坂 恵吾 (ソフトテニス部)	国際人間科学部 2年	令和元年度関西学生ソフトテニス連盟ランキング シングルスの部男子 第4位入賞。 関西学生連盟ランキングは、関西、西日本、全日本の3つの大会に基づき決定され、参加者は398名。
なかの ゆかり 仲野 由佳梨 (陸上競技部)	理学部 3年	2019全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)に、全日本大学選抜チームとして出場し、3位入賞。 全日本大学選抜チームは、全国8地区の学生陸上競技連盟から選抜された選手12名で構成され、更に選抜された7名がレースに出場。

◎団体

団体名	表彰理由
漕艇部	第46回全日本大学選手権大会 女子舵手つきフォア第8位。 2019年度関西選手権競漕大会 一般男子エイト優勝。 2019年度関西選手権競漕大会 一般女子舵手つきフォア第2位。
男子ラクロス部	関西トップリーグトーナメント 全勝優勝。 昨年の関東学生ラクロスリーグ優勝校の早稲田大学との試合の挑戦権を獲得。

4. 学生表彰規程第2条3号イによる推薦

◎団体

団体名	表彰理由
神戸大学東北ボランティア バスプロジェクト	令和元年11月釜石市から感謝状贈呈。神戸大学東北ボランティアバスプロジェクトは、東日本大震災が発災した2011年の5月より活動を開始し、これまで72回の現地活動を実施、延べ1,752人以上の学生が参加してきた。釜石市においては、仮設住宅・復興公営住宅の住民の方々を対象に足湯・手芸・カフェ活動など「被災者に寄り添う」長年の活動に対し、感謝状が贈られた。

5. 表彰規程第2条第3号ハによる推薦

氏名	所属学部等	学会・競技名等(開催・表彰日等)	表彰理由
保田ゼミ 豊岡プロジェクトチーム			<p>内閣府主催地方創生政策アイデアコンテスト、全国応募総数832件から地方予選を勝ち抜いた全国大会進出の最終8チームに選出され、協賛企業賞(帝国データバンク賞)を受賞(2018/12/15) https://contest.resas-portal.go.jp/2018/final.html</p> <p>大学生および社会人の部では、全国で唯一ファイナリストに選出された大学生チームであり、他の社会人チームは皆、現役の政策担当者であったことから、ファイナリスト選出は大いに評価される。</p> <p>※豊岡市のブランド米(コウノトリ米:無農薬、無化学肥料栽培で4年連続特Aランクであるが知名度が低い)の生産高を上げることで地域経済を活性化させる。これを使用したスイーツはあるが、高価で種類が少ない。米粉とオーガニック食材を使用した安価で健康に良いクッキー(ナイスライス)の考案、製造、販売でお米の消費量を増やすという施策アイデア。</p>
こはま なおひろ 小濱 直大	経営学部 経営学科4年	<p>内閣府主催地方創生政策アイデアコンテスト 協賛企業賞(帝国データバンク賞)</p>	
しちじょう かがつぐ 七條 耀胤	経営学部 経営学科4年		
まえさこ ゆうき 前迫 優希	経営学部 経営学科4年		
保田ゼミ「きゃみん」ビジネスプランチーム			
やまさき よしや 山崎 愛也	経営学部 経営学科4年	<p>キャンパスベンチャーグランプリ 大阪大会ファイナリスト選出 北おおさか信用金庫賞</p>	
すがはら そうま 菅原 颯馬	経営学部 経営学科4年		
まえさこ ゆうき 前迫 優希	経営学部 経営学科4年		